

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	司法研究科
大項目	6 授業
中項目	
小項目	6.0.1 授業計画・準備
要素	開設科目のシラバスや教材の作成等、授業の計画・準備が適切になされていること。
小項目	6.0.2 授業の実施
要素	開設科目が効果的に履修できるような適切な態様・方法で授業が実施されていること。
小項目	6.0.3 理論と実務の架橋
要素	理論教育と実務教育との架橋を意識した授業が実施されていること。
小項目	6.0.4 臨床教育
要素	臨床科目が適切に開設され実施されていること。

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 法律基本科目ならびに実務基礎科目の必修科目と選択必修科目すべての到達目標の明示、公表。	→各科目の到達目標の決定、公表。	B
2. 研究科内法律事務所の設置。	→法律事務所の開設場所、人数、教員の身分、事務所経費等の決定。	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

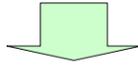
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.0.1	(現状説明) 法律基本科目・実務基礎科目の必修・選択必修科目については、シラバス作成時にあらためて要請した結果、ほとんどの科目について到達目標が明示された。その一方で、まだ明示されていない科目が少しであるが残っている。
☆ 小項目6.0.2	(現状説明) 他大学のロースクールで実施されている法律事務所の現況調査を行う予定であったが、まだ実施していない。
☆ 小項目6.0.3	(現状説明) 民事ローヤリングⅠ・Ⅱ・Ⅲを中心に行われているシミュレーション教育は全国の法科大学院のなかでもきわめて先進的な取り組みであり、理論と実務の架橋を強く意識したカリキュラム設定を行っている。
☆ 小項目6.0.4	(現状説明) 民事系科目において、想定できる形態の臨床教育科目のほぼすべてを実施している。質的にも充実している。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.0.1	
小項目6.0.2	
☆ 小項目6.0.3	
小項目6.0.4	
その他	



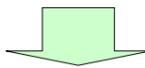
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.0.1	
小項目6.0.2	
☆ 小項目6.0.3	
小項目6.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.0.1	
小項目6.0.2	
☆ 小項目6.0.3	
小項目6.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.0.1	
小項目6.0.2	
☆ 小項目6.0.3	
小項目6.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

- 2009年度に目標として掲げられた「研究科内法律事務所の設置」の実現が望まれます。
- 自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、2008年度の認証評価報告書を参考にされて、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。
- 2008年度の認証評価の報告書で認証評価機関から指摘されている「シラバスと授業との関係」について、検討は進んでいるでしょうか。
- 現状説明で課題とされた事項について、改善すべき事項に記述をお願いします。
- 授業実施の検証は授業評価アンケート、授業参観などである程度可能です。それらを通しての記述を希望します。
- 理論と実務の架橋、臨床教育については関学ロースクールの特徴であり特筆すべきことです。従って、より以上の現状説明を望みます。また、効果が上がっている事項に記述されることも希望します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし